

理解し差別しない

2020/01/30

中 3 橋本 呼幸

新聞から学ぶ保健の授業で，南日本新聞のある記事を見つけた。エイズウイルス（H I V）患者が抱える不安やエイズに対する世間の偏見・差別に関する記事だ。

記事を読んで，日本のH I Vやエイズに対する考えは，世界と比べても遅れていると思った。日本は他国より，H I V患者が自分のことを隠したり，うそをついたりしなければならない環境にあることだ。

悲しいことに，H I V患者であることを伝えるのには，さまざまな犠牲を伴う覚悟が必要という。差別や偏見に押しつぶされて隠さざるを得ず，多くの人がつらい思いをしているだろう。

自分がもしH I V患者になったとき，誰かに助けを求めるのは難しいかもしれない。しかし，私の周りの人がH I Vについて相談してきたら，自分が率先して少しでも安心できる環境をつくりたい。授業で習った正しい知識を理解し，H I Vについて差別や偏見をもたないことはもちろんだ。H I Vやエイズのことを正しく理解する人がもっと増えることを願いたい。

（伊佐市）